

トップランナー要件を満たした企業の取組紹介

[取組一覧へ戻る](#)

取組名	企業名
気候変動への対応：リスクと機会への対応	シチズン時計株式会社

取組情報

区分	重要 リスク/機会	シチズンへの影響		時間軸		
		1.5°C	4°C	~2024	2025 ~ 2030	2031~
移行 リスク	政策・法規制	大	小	・新たな法規制（カーボンプライス制度）の導入・強化によるコスト増加	●	●
	技術及び市場	小	大	・原材料等のコスト増加、供給不足・供給停止	●	●
	レギュレーション	中	小	・気候変動への対応遅れなどによる評価・評判の下落、それによる株価・売上の低下	●	●
物理的 リスク	急性リスク	小	大	・自然災害による被災の激甚化・頻度の増加	●	●
	慢性リスク	中	大	・異常気象の影響や対策に事業支出が増加	●	●
		小	中	・サプライチェーン寸断による生産活動の停滞	●	●
機会	エネルギー・資源効率	大	小	・省エネルギー化の推進によるコスト削減	●	●
		中	中	・省資源化、3R、廃棄物ゼロエミッション、水資源の保全によるコスト削減	●	●
		中	小	・代替素材での製品開発による差別化・競争力の向上 ・物質代替・軽量化によるライフサイクルでの脱炭素の実現	●	●
	製品、サービス・市場	中	小	・環境配慮型製品/サービスの需要増による収益増	●	●
	レジリエンス	中	中	・自然災害対策を進めることで顧客からの信頼向上	●	●
		中	大	・計画的な対策の実施により物理リスク被害を最小限化	●	●

※ リスク評価の結果、1.5°Cシナリオ、4°Cシナリオともに重要度が「小」と判断されたものは、掲載をしていません。

脱炭素社会に向かう1.5°Cシナリオと温暖化が進む4°Cシナリオを用いて、分析、評価を行いました。

○認定日
2023年4月5日

○該当分野
(a) 脱炭素社会への移行に係わる取組

○取組の内容
2020年度TCFDに賛同しました。TCFD提言に基づき、1.5°Cシナリオおよび4°Cシナリオを用いて分析を行い、グループの事業や財務へのインパクトが大きいリスクと機会の評価を行いました。

○取組の判定とポイント
(先進性) 気候変動に伴うリスクと機会は事業戦略に大きな影響を及ぼすとの認識のもと、同リスクと機会を特定し、サステナビリティ委員会事務局が中心となり、1.5°Cシナリオおよび4°Cシナリオを用いて分析し、重要性を評価している点。

○内容に関する情報ページURL
<https://www.citizen.co.jp/sustainability/environment/climate.html>